

平成 30 年度の事業計画書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 とみおか子ども未来ネットワーク

1 事業実施の方針

- ・交流会事業、学習支援事業、集いプログラム事業を実施。
- ・広報活動の充実を図る。
- ・会員間の連携強化と会員拡充及び他団体の連携強化を図る。
- ・次世代向けの事業展開を目指す。
- ・アーカイブ事業を実施。

2 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施予定日時 (B)当該事業の実施予定場所 (C)従事者の予定人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 予定人数	事業費の 予算額 (単位：千 円)
タウンミ ーティン グ事業	開催なし	(A)なし (B)ー (C)ー	(D) ー (E) ー	0
交流会事 業	・若者世代のつながりの場作り として、関東圏に避難をしてい る 10 代、20 代の原発避難者を 対象に行う。	(A)年 2 回程度 (B)関東圏 (C)6 人	(D) 全国の当 事者支援団体及 び原発避難者 (E) 40 人	30
学習支援 事業	・「聞き書き」を用いて、全国 に避難している高校生、大学生 を対象に、高齢者世代の協力を 得て富岡住民同士「富岡町の暮 らし」について地域を学ぶ。 ・郷土文化の継承事業の推進	(A)3 回程度 (B)東京都内及び福島県内な ど (C)30 人	(D) 全国に避 難をしている、 高校生、大学生 及び高齢者層 (E) 延べ 10 人	1400
子育て相 談事業	開催なし	(A)なし (B)ー (C)ー	(D) ー (E) ー	0
支援者グ ループと の勉強会	・当事者支援団体との交流と学 びの場を目的とする。	(A)年 4 回程度 (B)全国 (C)6 人	(D) 全国の当 事者団体及びそ の会員、原発避 難者、当会員 (E) 50 人	10
セミナー 事業	・会員を対象にした原発避難に 対する勉強会を実施。 ・会員の要望で開催内容は決定 する。	(A)1 回 (B)福島県内 (C)13 人	(D) 会員 (E) 15 人	80
集いプロ グラム事 業	1) 富岡町の郷土料理を通じた 武蔵野市の市民交流会を開催 する。 2) 富岡町の暮らしに関わる手 作りを通じた交流会を実施す る。	(A) 1)7 月、12 月 2)6 月 (B) 1)福島県 2)東京都 (C) 1)6 人 2)3 人	(D) 1) 郡山に避難し ている富岡町民 及び一般の方 2) 関東圏に避難 している若者及 び一般 (E) 1) 30 人 2) 10 人	50

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施予定日時 (B)当該事業の実施予定場所 (C)従事者の予定人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 予定人数	事業費の 予算額 (単位：千 円)
アーカイ ブ事業	1) 原発災害地域の避難実態を私 歴として、可視化する支援事業 を行う。 2) 団体活動も7年となり、今まで の活動をまとめた報告書の冊 子制作を行う。	(A) 1) 随時 2) 2月 (B) 1) 全国各地 2) - (C) 1) 2人 2) 2人	(D) 1) 原発災害の避 難者 2) 富岡及び並び に連携関係者、 一般 (E) 1) 12人 2) 1000人	30
イベント 事業	・平成30年度の総会時にこれ までの活動報告会を開催する	(A)5月 (B)福島県 (C)6人	(D) 避難当事 者及び支援関係 者、一般 (E) 40人	30
情報発信 事業	1) 団体情報誌「とみログ」を 発刊し、富岡町民世帯へ配布す ると共に、連携団体や一般の方 へ配布する。 2) 団体の活動をまとめたリー フレットを作成する	(A) 1) 9月、3月の2回発行 2) 随時 (B) 1) 富岡町全世帯及び全国 2) 全国 (C) 1) 8人 2) 2人	(D) 1) 避難している 富岡町民世帯及 び関連団体、一 般 2) 不特定多数 (E) 1) 8000人 2) 不特定多数	100